日　本　史

解答範囲は，解答番号 1 から 40 までです。

Ⅰ　次の文章を読み，後の問い（問1～問12）に答えなさい。

9世紀の半ば以降，藤原北家が，天皇家との結びつきを強めて，しだいに勢力をのばした。その端緒は，藤原冬嗣が嵯峨天皇の信任を得て［ア］になり，天皇家と姻戚関係を結んだことにある。ついで，その子の藤原良房は，842年の承和の変によって他氏族の勢力を退けるとともに，甥を立太子させて，藤原北家の優位を確立した。

さらに良房は，858年，幼少の外孫が即位すると，外祖父として政治の実権をにぎり，866年の応天門の変を機に正式に［イ］になった。良房のあとを継いだ藤原基経は，陽成天皇が退位すると［ウ］を擁立し，天皇はこれに報いるために，884年に基経をはじめて事実上の［エ］に任じた。一方，基経は宇多天皇が即位にあたって出した勅書に抗議して，888年，これを撤回させた。この出来事を［オ］といい，基経は，これによって［エ］の政治的地位を確立した。

基経の死後，藤原氏を外戚としない宇多天皇は［イ］・［エ］をおかず，蔵人所を拡充した。次の醍醐天皇・村上天皇の時代にも親政がおこなわれたが，親政の合間には藤原忠平が［イ］・［エ］をつとめ，969年に，醍醐天皇の子で左大臣の源高明が左遷されると，藤原北家の勢力は不動のものとなった。

9世紀の文化は，貴族を中心とした唐風文化であったが，10世紀から11世紀にかけて文化の国風化が進展した。かな文字の発達により，文学では，和歌がさかんになり，かな物語や日記文学が生まれた。また，この時代の仏教は神仏習合が進む一方，阿弥陀仏を信仰する浄土教がさかんになった。

問1　下線部ⓐに関連して，9世紀半ば～10世紀前半における地方支配に関する記述として，不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 1

① 受領は，有力農民の田堵に田地の耕作を請け負わせた。
② 受領は，田地に税として官物と臨時雑役を課した。
③ 課税の対象となる田地は，名という徴税単位に分けられた。
④ 国司が赴任せずに収入のみを受け取る知行国が一般化した。

問2　下線部ⓑに関連する次の文X・Yについて，その正誤の組み合わせとして，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 2

X　北家は，藤原武智麻呂を祖とする家である。
Y　北家のほかには，南家・式家・京家がある。

① X＝正　Y＝正　② X＝正　Y＝誤
③ X＝誤　Y＝正　④ X＝誤　Y＝誤

問3　空欄［ア］・［イ］・［エ］にあてはまる語句の組み合わせとして，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 3

① ア＝摂　政　イ＝関　白　エ＝蔵人頭
② ア＝摂　政　イ＝蔵人頭　エ＝関　白
③ ア＝関　白　イ＝摂　政　エ＝蔵人頭
④ ア＝関　白　イ＝蔵人頭　エ＝摂　政
⑤ ア＝蔵人頭　イ＝摂　政　エ＝関　白
⑥ ア＝蔵人頭　イ＝関　白　エ＝摂　政

問4　下線部ⓒに関して，この出来事で流罪となった人物として，適切なものを1つ選びなさい。

解答番号 4

① 橘逸勢　② 早良親王　③ 大伴旅人
④ 源信（みなもとのまこと）　⑤ 紀貫之

問5　下線部ⓓに関連する次の文X・Yについて，その正誤の組み合わせとして，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 5

X　伴健岑が流罪になった。
Y　10世紀には，この事件に取材した『伴大納言絵巻』がつくられた。

① X＝正　Y＝正　② X＝正　Y＝誤
③ X＝誤　Y＝正　④ X＝誤　Y＝誤

問6　空欄［ウ］・［オ］にあてはまる語句の組み合わせとして，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 6

① ウ＝清和天皇　オ＝安和の変　② ウ＝清和天皇　オ＝阿衡の紛議
③ ウ＝一条天皇　オ＝安和の変　④ ウ＝一条天皇　オ＝阿衡の紛議
⑤ ウ＝光孝天皇　オ＝安和の変　⑥ ウ＝光孝天皇　オ＝阿衡の紛議

問7　下線部ⓔに関する記述として，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 7

① 養老律令に規定されていた。
② 嵯峨天皇によって設置された。
③ 京の治安維持を担う，重要な職となった。
④ 平城天皇によって一時廃止された。

問8　下線部ⓕに関して，この時期の出来事として，不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 8

① 『日本三代実録』が編纂された。
② 乾元大宝が発行された。
③ 班田が命じられ，荘園整理令が出された。
④ 鎮守府が胆沢城に移された。

問9　下線部ⓖに関連する記述として，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 9

① 小野道風ら三筆は，和様の書を書いた。
② 『土佐日記』が万葉仮名で書かれた。
③ 日本風の寝殿造として，東三条殿がつくられた。
④ 成人貴族は水干を正装とした。

問10　下線部ⓗに関連して，10～11世紀に成立した歴史物語として，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 10

① 『栄花（華）物語』　② 『源氏物語』　③ 『伊勢物語』
④ 『竹取物語』　⑤ 『増鏡』　⑥ 『吾妻鏡』

一般選抜入試(前期日程)　日本史(1月30日)

問11　下線部ⓘに関連して，平安時代の神仏習合に関する記述として，不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 11

① 延暦寺の僧兵は強訴に日吉神社の神輿を用いた。
② 興福寺の僧兵は強訴に春日神社の神木を用いた。
③ 神は仏が仮に形を変えてこの世に現れたものとする本地垂迹説が生まれた。
④ 仏は神が仮に形を変えてこの世に現れたものとする神本仏迹説が生まれた。

問12　下線部ⓙに関する次の記述として，空欄 A ・ B にあてはまる語句の組み合わせとして，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 12

沙門 A は，父母を言はず，亡命して世にあり。或は云く，潢流より出でたりといふ。口に常に弥陀仏を唱ふ。故に世に阿弥陀聖と号づく。或は市中に住して仏事を作し，また市聖と号づく。鯰しき路に遇ひては即ちこれを鍤り，橋なきに当りてはまたこれを造り，井なきを見るときはこれを掘る。号づけて阿弥陀の井と曰ふ。（ B ）

① A＝空　也　　B＝日本霊異記
② A＝空　也　　B＝日本往生極楽記
③ A＝源　信　　B＝日本霊異記
④ A＝源　信　　B＝日本往生極楽記
⑤ A＝行　基　　B＝日本霊異記
⑥ A＝行　基　　B＝日本往生極楽記

Ⅱ　次の文章を読み，後の問い（問1～問12）に答えなさい。

ⓐ江戸幕府は，豊臣氏滅亡直後に武家諸法度を制定し，ⓑ大名が守るべき規範を示した。ⓒ徳川家康が没し，徳川秀忠，徳川家光の治世になると，幕府の支配のしくみの大枠がととのえられていく。将軍と大名との主従関係をもとに，幕府と諸藩が全国の土地・人民を支配する体制，幕藩体制が確立されていくのである。ⓓ家光がおこなった上洛や日光社参は，全国の支配者としての将軍の地位を知らしめることになった。

ⓔ幕府は強大な軍事組織であり，行政組織でもあった。行政組織としての幕府の職制は，家光のころにほぼととのった。将軍のもとでⓕ老中が幕政を統括した。また，ⓖ三奉行がおかれ，それぞれの職掌が定められた。地方組織としては，西国大名の監視や朝廷の統制のために ア がおかれ，大坂・駿府などには イ がおかれた。ⓗ幕府の重要直轄地には，いわゆる遠国奉行がおかれた。

一方，ⓘ大名の領地とその支配機構としての藩においても，17世紀半ばになると領内一円支配が進められ，大名の領地・領民を支配する力は強化された。それに伴い，家臣にはⓙ俸禄制がとられるようになり，藩の職制が整備されることで藩権力も確立していった。

問1　下線部ⓐに関して，この時に制定された武家諸法度に関する記述として，不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 13

① 元和令と呼ばれる。
② 建武式目や戦国時代の分国法の影響を受けた条文もあった。
③ 大名が幕府の許可なく婚姻を結ぶことを禁じた。
④ 徳川家康が将軍として発布した。

問2　下線部ⓐに関する次の史料を読み，空欄 A ・ B にあてはまる語句の組み合わせとして，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 14

一　諸国ノ A 修補ヲ為スト雖モ，必ズ言上スベシ。況ンヤ B 堅ク停止令ムル事。（御触書寛保集成）

① A＝五百石以上ノ船　　B＝新儀ノ構営
② A＝五百石以上ノ船　　B＝新法ノ津留
③ A＝五百石以上ノ船　　B＝私ノ関所
④ A＝居　城　　B＝新儀ノ構営
⑤ A＝居　城　　B＝新法ノ津留
⑥ A＝居　城　　B＝私ノ関所

問3　下線部ⓑに関する記述として，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 15

① 親藩（一門）には紀伊藩・水戸藩・尾張藩の大名が含まれる。
② 親藩（一門）や有力な外様は江戸周辺や全国の要所に配置された。
③ 譜代は関ヶ原の戦い以後に徳川氏に従った大名をいう。
④ 外様は石高が10万石以内に制限された。

問4　下線部ⓒの人物に関する記述として，不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 16

① 諸大名に領知宛行状を出して主従関係を確認した。
② 大名の改易・減封・転封を積極的におこなった。
③ 将軍職を家光にゆずったのちも大御所として権力をにぎった。
④ 娘和子（東福門院）を明正天皇に入内させた。

問5　下線部ⓓに関連する記述として，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 17

① 家光の上洛時点では父秀忠が大御所として実権をにぎっていた。
② 家光は上洛して聚楽第に後陽成天皇を迎えた。
③ 江戸時代前期には日光社参は将軍一代につき一度のみであった。
④ 江戸時代後期には徳川家慶が67年ぶりに日光社参をおこなった。

問6　下線部ⓔに関して述べた次の文X・Yについて，その正誤の組み合わせとして，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 18

X　幕府の軍事力の中核は，将軍直属の家臣団（御家人・奉公衆）だった。
Y　大名は戦時には石高に応じた兵力で従軍する普請の義務を負った。

① X＝正　Y＝正　　② X＝正　Y＝誤
③ X＝誤　Y＝正　　④ X＝誤　Y＝誤

問7　下線部ⓕに関する記述として，不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 19

① 老中は3～5名程度が任命され，将軍のもとで政務をとりまとめた。
② 老中を補佐する職として若年寄があった。
③ 老中の上に臨時に大老がおかれることがあった。
④ 老中のそば近くに仕え，政務を取り次ぐ管領がおかれた。

問8　下線部ⓖに関する記述として，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 20

① 三奉行はいずれも老中の支配下におかれた。
② 三奉行とは，寺社奉行，町奉行（江戸町奉行），鎮西奉行をいう。
③ 三奉行の各役職の定員は各1名で任期は3年であった。
④ 三奉行には旗本のなかから任命される役職があった。

問9　空欄［ア］・［イ］にあてはまる語句の組み合わせとして，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 21

① ア＝京都所司代　イ＝城　代　② ア＝京都所司代　イ＝郡　代
③ ア＝京都大番役　イ＝城　代　④ ア＝京都大番役　イ＝郡　代
⑤ ア＝京都守護職　イ＝城　代　⑥ ア＝京都守護職　イ＝郡　代

問10　下線部ⓑに関して，遠国奉行がおかれた幕府直轄地として，不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 22

① 伏　見　② 佐　渡　③ 日　光
④ 山　田　⑤ 飛　騨

問11　下線部①に関連して述べた次の文X・Yについて，その正誤の組み合わせとして，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 23

X　有力武士を家老などの役職につけて藩政を分担させた。
Y　大名は家臣団を城下町に集住させた。

① X＝正　Y＝正　② X＝正　Y＝誤
③ X＝誤　Y＝正　④ X＝誤　Y＝誤

問12　下線部①に関して述べた次の文X・Yについて，その正誤の組み合わせとして，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 24

X　徴収した年貢を蔵米として藩士に支給する制度である。
Y　俸禄制度はその後，藩士に知行地を与え，領地支配を認める制度にとってかわられることになった。

① X＝正　Y＝正　② X＝正　Y＝誤
③ X＝誤　Y＝正　④ X＝誤　Y＝誤

Ⅲ　次の(1)・(2)の文章を読み，後の問い（問1～問16）に答えなさい。

(1)　［ア］を基盤に組閣された第4次伊藤博文内閣の退陣は，日本政治の世代交代のきっかけとなった。この退陣を受けて成立した第1次桂太郎内閣ⓐは，外務大臣に［イ］をすえるなど，世代交代を意識した人材を登用した。ただし，伊藤や山県有朋らは政治の第一線から退いたとはいえ，元老として政界に影響力をもち続けた。

1906年1月，桂太郎にかわって，西園寺公望が内閣を組織した。この第1次西園寺内閣ⓑは，日露戦後経営につとめた。1907年夏には，第3次日韓協約と第1次日露協約を締結し，日本の国際的地位を安定させた。しかし翌年，総選挙で圧勝したにもかかわらず，恐慌による政策の行きづまりから，桂太郎に政権をゆずった。

第2次桂内閣は，緊縮財政路線を打ち出すとともに，地方改良運動ⓒを推進した。また，外交では，韓国併合の断行やロシアとの関係安定化，さらには［イ］のもとで関税自主権の回復を実現した。

1911年に桂から再び内閣を引き継いだ第2次西園寺内閣は，国家財政が悪化するなかで組閣されたため，より一層の緊縮財政の方針を示した。だがこの方針に対して，各所より批判・要求があいついだ。とりわけ，陸軍からの要求はきびしく，さらに，内閣と陸軍との交渉に奔走していた石本新六陸軍大臣が病死したことで，内閣は困難な立場に立たされていった。そうしたなかで，石本のあとを継いだ［ウ］陸軍大臣が，西園寺から2個師団増設ⓓを拒否されると，天皇に直接辞表を提出した。さらに，陸軍が後任の陸相を推薦しなかったため，軍部大臣現役武官制ⓔによって，内閣が維持できず，西園寺は総辞職に追い込まれた。

その後，桂太郎が再度首相となり，内閣を組織した。しかし，これに対し，立憲政友会の尾崎行雄と立憲国民党の犬養毅を中心に，「閥族打破・憲政擁護」を掲げる第1次護憲運動ⓕがおこったことで，在職50日余りでの退陣を余儀なくされた。こうして，桂太郎と西園寺公望が交互に内閣を担当した桂園時代は終焉を迎えたのである。

問1　空欄［ア］にあてはまる語句として，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 25

① 立憲政友会　② 憲政本党　③ 憲政党
④ 立憲改進党　⑤ 立憲国民党

問2　下線部ⓐに関連して，次の史料は第1次桂太郎内閣が調印した文書の一部です。空欄［A］～［C］にあてはまる語句の組み合わせとして，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 26

両締約国ハ相互ニ［A］及［B］ノ独立ヲ承認シタルヲ以テ，該二国孰レニ於テモ全然侵略的趨向ニ制セラルルコトナキヲ声明ス，然レトモ両締約国ノ特別ナル利益ニ鑑ミ，即チ其利益タル［C］ニ取リテハ主トシテ［A］ニ関シ，又日本国ニ取リテハ其［A］ニ於テ有スル利益ニ加フルニ，［B］ニ於テ政治上並商業上及工業上格段ニ利益ヲ有スルヲ以テ，両締約国ハ若シ右等利益ニシテ別国ノ侵略的行動ニ由リ，若クハ［A］又ハ［B］ニ於テ両締約国孰レカ其臣民ノ生命及財産ヲ保護スル為メ干渉ヲ要スヘキ騒擾ノ発生ニ因リテ侵迫セラレタル場合ニハ，両締約国孰レモ該利益ヲ擁護スル為メ必要欠クヘカラサル措置ヲ執リ得ヘキコトヲ承認ス

（日本外交文書）

① A＝韓　国　B＝清　国　C＝大不列顛国
② A＝韓　国　B＝清　国　C＝米　国
③ A＝韓　国　B＝清　国　C＝露西亜国
④ A＝清　国　B＝韓　国　C＝米　国
⑤ A＝清　国　B＝韓　国　C＝大不列顛国
⑥ A＝清　国　B＝韓　国　C＝露西亜国

問3　空欄［イ］・［ウ］にあてはまる語句の組み合わせとして，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 27

① イ＝陸奥宗光　ウ＝上原勇作　② イ＝小村寿太郎　ウ＝上原勇作
③ イ＝陸奥宗光　ウ＝田中義一　④ イ＝小村寿太郎　ウ＝田中義一
⑤ イ＝陸奥宗光　ウ＝寺内正毅　⑥ イ＝小村寿太郎　ウ＝寺内正毅

問4　下線部ⓑに関して述べた次の文X・Yについて，その正誤の組み合わせとして，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 28

X　南満洲鉄道株式会社を設立し，満洲への経済進出の足がかりをつくった。
Y　航海奨励法を制定し，遠洋航路の開拓を促進した。

① X＝正　Y＝正　② X＝正　Y＝誤
③ X＝誤　Y＝正　④ X＝誤　Y＝誤

問5　下線部ⓒに関して述べた次の文X・Yについて，その正誤の組み合わせとして，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 29

X　農商務省が中心となり，推進された。
Y　この運動のなかで，青年会（青年団）の組織化が進められた。

① X＝正　Y＝正　② X＝正　Y＝誤
③ X＝誤　Y＝正　④ X＝誤　Y＝誤

一般選抜入試(前期日程)　日本史(1月30日)

問6　下線部ⓓに関して述べた次の文X・Yについて，その正誤の組み合わせとして，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 30

X　陸軍の目的は，満洲に常設師団をおくことであった。

Y　第2次大隈重信内閣のもとで，増設案は議会を通過した。

① X＝正　Y＝正　② X＝正　Y＝誤

③ X＝誤　Y＝正　④ X＝誤　Y＝誤

問7　下線部ⓔに関する記述として，不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 31

① 第1次山本権兵衛内閣は，この制度を改め，現役規定を削除した。

② 岡田啓介内閣は，軍部の政治的拡大におされ，この制度を復活させた。

③ この制度は，第2次山県有朋内閣によって制定された。

④ 宇垣一成は，この制度により組閣できなかった。

問8　下線部ⓕに関する記述として，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 32

① この運動以後，元老が首相を任命することはなかった。

② この運動がおこった背景には，桂が宮内大臣であり，詔勅を得て内閣を組織したことがあった。

③ この運動を受け，桂は衆議院を解散した。

④ 桂は立憲国民党から分裂した勢力と協力し，内閣を維持しようとした。

(2)　第一次世界大戦中ⓖから戦後にかけて，日本国内でも民主主義への要求が高揚していく。そうしたなかで，首相となったのが，衆議院に議席をもつ立憲政友会総裁の原敬であった。原内閣ⓗは積極政策を掲げ，国民からの支持を得た。だが1920年末頃より，戦後恐慌による財政的行きづまりや立憲政友会が関わる汚職事件が続発したことで，政権は不安定な状況におちいった。こうした状況に憤激した青年により，原は暗殺された。

原の死にともない，1921年に高橋是清ⓘが立憲政友会総裁に就任し，内閣を組織した。しかし，立憲政友会の内紛などから内閣運営に行きづまり，短命に終わった。この高橋のあとを受け，［エ］であった［オ］が首相となる。［オ］は，立憲政友会を事実上の与党とし，原内閣を引き継いだ政策を推進したが，1923年8月に病死した。それにより，［カ］内閣が誕生するが，組閣中の9月に関東大震災が発生し，その対応に追われ，さらに，震災後の混乱下でおきた虎の門事件の責任をとり，1924年1月に総辞職した。

この総辞職を受け，清浦奎吾内閣が成立した。だが清浦の超然主義に対し，第2次護憲運動がおこった。そして，この運動を受けておこなわれた総選挙ⓙで，いわゆる護憲三派が勝利し，憲政会総裁の加藤高明を首相とする連立内閣が誕生した。

しかし，立憲政友会が1925年に田中義一ⓚを総裁に迎えるとともに，革新倶楽部を吸収すると，護憲三派の提携は解消され，加藤高明内閣ⓛは憲政会を単独与党とする内閣となった。これ以後，五・一五事件ⓜで犬養毅内閣が倒れるまで，憲政会（のち立憲民政党）と立憲政友会の二大政党が交互に政権を運営した。

問9　下線部ⓖに関連して，第一次世界大戦中の日本経済に関する記述として，不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 33

① 第二次産業の労働者数が，第一次産業の労働者数を上回った。

② 実質賃金は，物価の高騰により低下していた。

③ 工業生産額が農業生産額を上回った。

④ ドイツからの輸入が途絶えたことで，薬品・染料・肥料などの化学工業が勃興した。

問10　下線部ⓗに関する記述として，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 34

① 中国の段祺瑞政権に経済借款を与えた。

② 衆議院で小選挙区制を導入した。

③ 米騒動の責任を追及する世論の前に，総辞職に追い込まれた。

④ シベリアから兵を撤退させた。

問11　下線部ⓘの人物に関する記述として，不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 35

① 岡田啓介内閣の大蔵大臣在任中に，殺害された。

② 首相をつとめた内閣は，ワシントン体制を積極的に受け入れ，協調外交を進めた。

③ 浜口雄幸内閣の大蔵大臣として，金輸出解禁を断行した。

④ 犬養毅内閣の大蔵大臣として，管理通貨制度へ移行させた。

問12　空欄［エ］～［カ］にあてはまる語句の組み合わせとして，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 36

① エ＝外務大臣　オ＝山本権兵衛　カ＝加藤友三郎

② エ＝外務大臣　オ＝加藤友三郎　カ＝山本権兵衛

③ エ＝海軍大将　オ＝山本権兵衛　カ＝加藤友三郎

④ エ＝海軍大将　オ＝加藤友三郎　カ＝山本権兵衛

⑤ エ＝陸軍大将　オ＝山本権兵衛　カ＝加藤友三郎

⑥ エ＝陸軍大将　オ＝加藤友三郎　カ＝山本権兵衛

問13　下線部ⓙに関して述べた次の文X・Yについて，その正誤の組み合わせとして，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 37

X　清浦内閣は，立憲政友会を脱党した議員が結成した政友本党の支持を得て選挙にのぞんだ。

Y　直接国税3円ならびに25歳以上の男性のみが選挙権を有していた。

① X＝正　Y＝正　② X＝正　Y＝誤

③ X＝誤　Y＝正　④ X＝誤　Y＝誤

問14　下線部ⓚに関連して，田中義一内閣に関する記述として，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 38

① 不戦条約（パリ）の条文が天皇主権に反するとして批准しなかった。

② モラトリアム（支払猶予令）を発したうえで，日本銀行に救済融資を実施させ，金融恐慌の収拾をはかった。

③ 警視庁内に特別高等警察といわれる思想警察をおいた。

④ 陸軍の師団数を減らすとともに，軍備の近代化をはかった。

問15　下線部①に関する記述として，適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 39

① 共産党員の一斉検挙をおこなった。

② はじめて男子普通選挙制にもとづく選挙を実施した。

③ 緊急勅令により，台湾銀行を救済した。

④ ソ連との国交を樹立した。

問16　下線部㉚に関連して，五・一五事件と同じ年におきた出来事として，不適切なものを次のなかから1つ選びなさい。

解答番号 40

① 日本政府が，国際連盟からの脱退を通告した。
② 第1次上海事変がおきた。
③ 日満議定書が取りかわされた。
④ 関東軍が，溥儀を執政とする満洲国の建国を宣言させた。